

令和6年度 総合的な学習の時間 全体計画 江戸川区立松江第一中学校

校長名 瀬戸 完一

名称:総合的な学習の時間

学校の教育目標	思いやりをもち、協力し合い豊かな心をつちかう 進んで学習に励み、がんばり抜く力を身につける 正しく厳しく、美しく生涯の基を築く
----------------	---

国が示す総合的な学習の時間の目標	
探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 探究的な学習の課程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようにする。 (2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。	

学校の総合的な学習の時間の目標	
1 横断的・総合的な学習や探求的な学習を通して、自己の生き方を考えることができる。 2 学び方やものの考え方を身に付け、自ら学び、自ら考える力を高めさせる。 3 問題の解決や探求活動に主体的、創造的、協働的に取り組む態度を育てる。	

育てようとする資質や能力及び態度		
知識・技能		
第1学年	第2学年	第3学年
総合的な学習の時間で習得する知識及び技能を横断的に関連付け、身の回りの事象を幅広く捉えることができる。	他教科等及び総合的な学習の時間で習得する知識及び技能を関連付け、社会的な事象を捉えることができる。	自ら課題を見付け、よりよく解決する能力を身に付ける
思考・判断・表現		
第1学年	第2学年	第3学年
必要な情報を適切に収集し、分析することができる。	必要な情報を収集し、多角的に分析し、表現することができる。	日々自身の課題を見付け、よりよい解決方法を選択し実践できる
主体的に学習に取り組む態度		
第1学年	第2学年	第3学年
自らの生活の在り方や世の中の動きを考え、自己の将来や夢、希望に関心をもち、社会とのつながりを進んで学ぶことができる。	自らの生活の在り方を考え、自己の将来に関心をもち、夢や希望をもつ・異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重することができる。	自分の身の回りの課題を見付け、よりよい解決方法を考え、実践できる。
第1学年	第2学年	第3学年

内容	学習対象	学習事項
第1学年	SDGsの17項目についての理解と実践。上級学校や職業に対する理解。計画性や社会性を身につけるための社会見学。	タブレット端末や図書館等を利用して調べ学習を行い、まとめる。身近な職業について理解を深める。(職業調べ、キャリアパスポート作成、社会見学事前・事後学習、SDGsを知ろうなど)
第2学年	SDGsの17項目についての理解と実践。自己の適性を知るための職業体験。計画性や社会性を身につけるための社会見学及び移動教室。	1年次に学んだSDGsについての知識を、日常生活や行事の中にある課題の解決に生かす。1年次の進路学習で確認した自分の適性を基に職業体験学習に取り組む。それを通して自己の将来の生き方について考え、働くことの意義を学ぶと共に長期的な目標を考える。上級学校について調べることで中期的な目標を明確にしていく。社会見学や移動教室の事前・事後学習で班員と協力して学習活動を行い、社会性や計画性を身につける。
第3学年	修学旅行先の地域の伝統や文化とその継承に力を注ぐ人々について調べ探求する。仕事や職業、進学など自己の生き方に関わる問題について考える。	その地域の伝統や文化のもつ特徴とその歴史的背景を知る。その地域の伝統や文化の継承を目指した多様な取り組みを知り、課題について理解を深める。社会に貢献することを念頭に置いた自己の将来を展望し、実現に向けてできる今できることを実践する。

学習活動	指導方法	指導体制	学習の評価
SDGsについての学習、タブレット端末や図書室等を利用した調べ学習の実施。チャレンジ・ザ・ドリームなど体験学習の実施。修学旅行等の社会・校外学習を通しての地域・文化等について理解する。	タブレット端末や図書室等を効果的に利用し、生徒が意欲的に取り組めるよう指導を工夫する。	学年の教員を中心に、分掌組織を活用した全校体制で取り組む。ゲストティーチャーを招き、専門家からの指導を受ける。	まとめプリントや発表への取り組み方について評価する。